

永山まちづくり 推進協議会NEWS

令和7年
3月号

地域で活動する団体や住民が一堂に会し、地域の課題や問題について意見交換する会議です。

今年度も各実行委員会でさまざまな取組を行いました。永山まちづくり推進協議会のホームページでも紹介していますので、是非ご覧ください。



こちらの二次元
バーコードを
読み取ってください

令和6年度の各実行委員会の取組を紹介します(順不同)

永山魅力発見隊

新たな永山の魅力を発見し、知ってもらうため『永山魅力発見ツアー』を実施しました。永山地区の4小学校に通う5～6年生24人が訪れた旭川農業高校では、高校生が企画した「乳しぼり、サツマイモタルト作り、ハーバリウム制作、木工工作」から一つを選んで体験。参加者からは、捨てられてしまう花を減らす活動や動物の飼育など高校の様々な取組を知り、優しく関わってくれた高校生に触れ、永山の魅力を伝えたいという声が聞かれました。



スープの冷めない“きずな”づくり

温かいスープをお届けし、きずなを深める事業として今年は3回実施。第2団地、3区第2町内会、むつみ町内会に伺いました。旭川市立大短期大学部お料理研究サークルが調理した、地元産野菜たっぷりのさつま汁とおにぎりを町内会、民生児童委員、地域の方の協力を得て学生が一人暮らしの高齢者宅などにお届けしました。学生と地域の方が訪問すると、楽しみに待っていたと笑顔で出迎えてくれた方、姿が見えなくなるまで見送ってくださった方もおられ、心もからだも温まる交流ができました。



具材たっぷり さつま汁 ～新米のおにぎり付き

材料 (1人分)

豚バラ肉 : 40g
さつまいも : 40g
にんじん : 20g
だいこん : 20g
ごぼう : 15g
しめじ : 15g
干しいたけ : 2g
小ねぎ : 1g
味噌 : 8g
かつお・昆布だし : 180ml

作り方

1. 豚バラ肉は1口大に切る。さつまいもはサイコロ状に切る。ごぼうはさがきに切る。その他野菜類は1口大に切る。
2. 豚バラ肉を焼く
3. かつお・昆布だしを用意し、野菜類、豚バラ肉を加える
4. 野菜類にある程度火が通ったら味噌を溶きながら加えていく
5. 最後に小ねぎを加えて完成!!

永山産の具材がたっぷり！
…お米、お肉、小ねぎ以外の野菜類

ここがポイント

• かつお・昆布だしを使用し、出汁も感じられるさつま汁としました。
• ほぼ全ての具材が永山産のものであり、地産地消ができるものとしています。
• 根菜類を多く使用することで食物繊維量が3.3gと非常に多く含まれています。

地域のオタスケマン

「町内会のお仕事はなんですか。」「私たちにできるボランティアはありますか。」永山西小学校3年生の授業にオタスケマンが参上。児童からインタビューを受けて、暗い夜道を照らす街灯やごみステーションの管理、通学路での見守りやパトロール、公園等の清掃など、地域の方が安心して暮らせるようにと町内会のオタスケマンが活動していることを伝えることができました。



永山健康マイレージ

永山に住む40歳以上の方を対象に事業を実施しました。歯科受診や栄養チェックに取り組んでいただくほか、クッキング教室や健康講座を開催し、お口の健康維持とバランスの取れた食事による栄養摂取の大切さを学んでいただきました。取り組んだ方はキャンペーンに応募することができ、健康に関する商品や永山にちなんだ商品をお渡ししました。



永山南きづな・ほのぼのバザー

地元で採れた野菜や手作り作品などを認知症当事者や障がい者が販売する「きづな・ほのぼのバザー」を開催しました。店頭では、おすすめ商品の紹介や袋詰め、お金の受け渡しをしながら笑顔でおもてなし。お客様との会話ははずんでいました。当日は高齢の方からお子さんまで幅広い世代の方でにぎわい、お買い物を楽しまれたほか、募金のお願いに対して多くの方からご協力をいただきました。



旭川市立大学の屯田まつり支援

旭川市立大学と永山第二地区市民委員会が連携し、永山屯田まつりへの支援を行いました。大学での事前学修では、地域の方を講師として屯田音頭を練習。さらにまつりへの想いを語り、学生からの質問に地域の方が答えるなど交流を深めました。当日の舞踊パレードでは見事な踊りを披露。市民委員会と学生で屯田まつりを大いに盛り上げました。



永山地区子どもの学習支援

図書館が休館する毎週月曜日の15時から17時まで、永山公民館音楽室で子どもが学習する場所を提供しています。旭川市立大学の学生が子どもたちを見守りながら、勉強も教えてくれます。教員を目指す大学生がわかりやすく教えてくれるので、ぜひ足を運んでください。

※お休みの日もありますので、開催日については事前に永山公民館に確認してください。

永山南地域ボランティア養成

困っている方を地域で支える体制づくりを目指し、まずは「除雪」にスポットをあててボランティアの担い手発掘を進めてきました。昨年度に引き続いて、永嶺高校アウトドア同協会のご協力により、高齢などで除雪が難しいお宅に出向き、除雪や見守り活動を行いました。

永山の地域目標は、「屯田の歴史を引き継ぐ地域住民が結束したまちづくり」です。

イベントの参加にとどまらず、実行委員会への積極的な参画もお待ちしております。

連絡先： 永山まちづくり推進協議会事務局（永山支所 48-1111）